

# ORENO倉庫 部材表

【1912】

間口：約156cm 奥行：約220cm 高さ：約189cm

\* 裏面『安全上の注意』を先にお読みください。

入り口高さ(パイプまで):約165cm

A ケース					No.	品名	数量	規格	形状
No.	品名	数量	規格	形状	⑭	Rバンド	1	30m	
①	ベース用 前後パイプ	4	19×76 TTcm		⑮	U字杭	4	10×24 mm cm	
②	ベース用 横パイプ	6	19×70 TTcm		⑯	サドルバンド コンクリート クギ	4		
③	脚用 パイプ	8	19×126 TTcm		⑰	レール用 パイプ	1	19×140 cm	
④	横通し用 パイプ	6	19×70 TTcm		⑱	ラセン杭	4	小	
⑤	アーチ用 パイプ	8	19×109A TTcm		<b>B ケース</b>				
⑥	天井部用 パイプ	3	19×70 TTcm		⑲	天幕	1		
⑦	パイプ ジョイント	4	3点90°		⑳	後幕	1		
⑧	パイプ ジョイント	8	T型		同じ袋に、入っています。				
⑨	パイプ ジョイント	4	十字		㉑	前幕	1		
⑩	パイプ ジョイント	2	3点155°		㉒	Sカン	8		
⑪	パイプ ジョイント	2	4点155°		㉓	Sカン付き ゴムロープ	1		
⑫	ストレート ジョイント	2	19用		㉔	ダブル ユニバーサル	2組	19×19	
⑬	絞りリング	4	SR-1						

## ※必要な工具

プラスドライバー・プライヤー  
はさみ・カッター・マジック  
ハンマー（プラハン、金）等

## ※替幕（天幕・前幕・後幕）

は、単品販売しております。

本商品を、  
お買い上げいただきました販売店様  
まで、お問い合わせください。



※前幕を  
開いた状態

# 安全上のご注意

この「安全上のご注意」では、お客様や人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にご使用頂く為に守って頂きたい事項を示しています。ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、内容をご理解の上、正しく安全にご使用頂きますようお願い致します。

## 警告

この項目の内容は「人が死亡または重傷<sup>※1</sup>を負う可能性が想定される内容」を示しています。

※1「重傷」とは、失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期通院を要するものを指します。

### 禁止 固定を行わない設置

弊社取扱製品は、設置にはすべて「支柱の埋込」または「ベースに鉄筋杭やアンカーの打ち込み」による固定が必ず必要となっております。固定を行わずに置くだけの設置をすると、強風時に倒壊・吹き飛ばされるなどの事故の原因となります。必ず固定して設置してください。

置いただけの設置は絶対に行わないでください。  
また、設置場所がコンクリート・アスファルトまたはタイル等の場合や設置場所の地面が固く締まっている場合、アンカーを打つ場所に、先に下穴を開ける必要があります。これらの場所に固定用アンカーの下穴を開ける場合は、振動ドリルなどの工具が必要になります。こういった工具をお持ちでない場合は、お近くの工務店、エクステリア業者等にご相談して設置してください。

### 禁止 建物の屋上・テラス・ベランダ等の高い場所への設置

これらの場所は固定が行えないだけでなく、強風が吹いた場合、製品が落下したり吹き飛ばされたりして、人が死亡または重傷を負ったり、周囲に損害を与えるおそれがあります。このような場所には絶対に設置しないでください。

### 禁止 風が強い場所への設置

強風(ビル風・川風・海風・高い場所等)にさらされる場所を避けて設置してください。このような場所では周囲よりも強く風が吹くことがあり、思わぬ損傷を受け、事故につながるおそれがあります。また、設置場所によっては、付属の固定クイでは、強度が不足する場合がありますので別途補強を行って設置してください。

### 禁止 積雪・落雪がある場所への設置

豪雪地帯のような毎年積雪のある場所では、雪の重さによって製品が損傷(シート・ネットが破れる・倒壊等)するおそれがあります。また、屋根など高い所から雪が落ちる場所へ設置すると、落下した雪の重さに耐え切れずに製品が損傷・倒壊するおそれがあります。

### 禁止 傾斜地・凹凸のある場所・軟弱な地盤の場所への設置

傾斜のない平坦な場所に設置してください。傾斜地・凹凸のある場所には安定して設置できません。また、地盤が軟弱なところでは、固定を行えない為設置できません。

### 禁止 火の影響を受ける場所への設置

焼却炉の付近等、火気の近くには設置しないでください。

### 禁止 幹線道路・線路の付近への設置

強風が吹いた場合に付近の自動車や列車に衝突して重大な損害を与えるおそれがあります。

### 禁止 変電所・高圧電線付近への設置

強風が吹いた場合、吹き飛ばされた部材が電気施設に重大な損害を与えるおそれがあります。

### 禁止 その他危険な場所への設置禁止

上記以外でも危険があると思われる場所には絶対に設置しないでください。

### 禁止 悪天候時の設置・補修作業

悪天候時の組立・補修作業を行わないでください。災害の原因となるおそれがあります。

### 禁止 素手での設置・補修作業

組立・補修作業を行う時は、安全の為必ず手袋をはめて作業をしてください。

### 禁止 シートを張る作業について

弊社製品本体のベースを固定してから、シート・ビニール・ネット等を張ってください。ベースを固定せずにシート・ビニール・ネット等を設置すると本体が移動することで、シートやヒモが緩むなどの理由で、製品が損傷し事故の原因となるおそれがあります。

### 禁止 目的外の使用禁止

弊社取扱製品は各製品の使用目的を守ってご使用ください。他の用途には絶対に使用しないでください。特に子供の遊び場等には絶対に使用しないでください。

### 禁止 火気禁止

弊社取扱製品の付近や内部では絶対に火気(コンロ・石油ストーブ・バーナー・溶接機等)を使用しないでください。パイプ車庫前後幕付きご使用の場合は、前幕を開けるなどして換気を十分に行い、マフラーがシートに近づきすぎないようにご注意ください。

### 禁止 危険物の貯蓄禁止

危険物(可燃物・劇物・薬物・毒物・ガソリン・ガスボンベ・シンナー・塗料等)を保管しないでください。また、これらの危険物を積載した状態での車両の保管もおやめください。

### 禁止 換気に注意

内部でエンジンのアイドリングを行わないでください。一酸化炭素中毒のおそれがあります。また、揮発性の薬品やガス等を使用しないでください。内部で発電機やポンプ等、エンジンを使用した場合、送風機等を使い、換気を必ず行ってください。

## 注意

この項目は「人が傷害<sup>※2</sup>を負う可能性が想定される内容や、物的傷害<sup>※3</sup>の発生が想定される内容」を示しています。

※2「傷害」とは、治療に入院や長期通院を要さないけが・やけど(高温・低温)・感電等を指します。

※3「物的損害」とは家屋・家財及び家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

### 注意 パイプに物を掛けない。

構造材のパイプに物を掛けたり、ぶら下がったり、物を吊るす等余計な力・重量を加えないでください。

### 注意 操作に関するご注意

開閉できる幕がある場合は、車の出し入れ時以外は必ず閉めてください。幕が開いていると、風に吹かれて車庫内部の車を金具等で傷つける恐れがあります。

### 注意 強風の場合

強風時は天気情報などを参考に、前もってシート・ビニール・ネット等は外し、まとめてロープ等で骨組みに止めてください。シート・ビニール・ネット等をそのままにしておくと、破損したり、フレームに損傷を与える恐れがあります。台風等で災害が予想される時は、パイプ車庫・パイプ倉庫・ビニールハウス・ゴルフ練習ネット等、固定して設置してある場合でも、シート・ビニール・ネット等を外し、畳んで収納してください。

### 注意 雪が降っている場合

雪が積もった場合は、随時雪降ろし作業を行ってください。シート上に雪が積もっている場合は、雪の重さで倒壊する危険がありますので、内部には絶対に入らないでください。内部に入る前に、必ず雪降ろしを行ってください。

### 注意 仕様変更

商品改良の為、仕様を予告なく変更することがあります。

## メンテナンス(保持管理)について

弊社取扱製品はいくつかの点を定期的にメンテナンス(保持管理)を行う必要があります。長期間メンテナンス(保持管理)を行わずに使用を続けると不調の原因となる場合があります。製品を設置された後は、危険防止措置を含むメンテナンス(保持管理)をお客様の責任において行ってください。

### 注意 アンカー・固定ひもの点検

弊社取扱製品を固定しているアンカーがぐらいついたり抜けている箇所がないか、また固定ひもが切れたり、緩んだりほどけている箇所がないか、定期的に確認してください。アンカーや固定ひもに問題を見つけた場合は、早めに補修を行ってください。放置すると、シート・ビニール・ネット等が強風時に飛ばされる恐れがあります。

### 注意 シート・ビニール・ネットの点検

弊社取扱製品のシート・ビニール・ネット等に破れたりほつれたりしている箇所や、裂けている箇所がないか定期的に確認してください。シートの破損を放置すると、破損箇所が大きく広がったり、シート・ビニール・ネット・フレームに悪影響を与える恐れがあります。

### 注意 降雨後のお手入れ

雨が降った後などシートに水がたまった場合は、シート上に水がたまらない様に、シートをピンと張るように張り直してください。水がたまままにすると、フレームが倒壊する原因になる恐れがあります。

### 注意 交換用部材の発注について

交換用シート等のご注文は、それぞれの型番でご注文ください。部材の型番は、部材表・組立説明書に記載してありますので大事に保管してください。

この度は、弊社商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
正しく使用していただくことで、長持ちしますので、本商品を組立てる前に部材表裏面、『安全上の注意』をお読みください。

### (1) ベース用前後パイプを2本組立てます

つまむと、リングの輪が広がります。

**前後・2組**

中心で止めます  
強くナットを締めます。

絞リングの向きにお気をつけください。

**絞リングの取付けをお忘れにならないように。**

パイプとパイプの継ぎ目を中心にしっかり止めます。

### (2) ベース用横パイプを2本組立てます

差し込みます

差し込みます

**左右・2組**

**パイプジョイントの奥まで、しっかりベース用横パイプを差し込みます**

### (3) 組立てた各種パイプを、各パイプジョイントで組立てます

**※ジョイントを各方面から、軽く叩いて、パイプを奥まで、差し込みます。**  
ジョイントの上部を叩くと、破損する恐れがあります。

地面  
ストレートジョイントの蝶ナット部分を、地面側に取付けます。

絞リングの取付けを確認ください。

ベース用前後パイプ

ベース用横パイプ

ベース用横パイプ

ベース用前後パイプ

### (4) ③脚用パイプをパイプジョイントに差し込みます

パイプの先が潰れないように軽く叩いてください。

**※ジョイントの奥まで、パイプをしっかり差し込みます。**

後方

前方

垂直に立てます。

### (5) 各ジョイントと横通し用パイプを組立て、脚用パイプに差し込みます。

**左右・2組**

ジョイントの奥までしっかり差し込みます

前方

後方

差し込みます

差し込みます

差し込みます

差し込みます

差し込みます

差し込みます

差し込みます

### (6) アーチ用パイプ・天井部用パイプを、⑩⑪パイプジョイントに差し込み、天井部を組立てます

しっかり奥まで差し込みます。

**先が赤い方が、下になります**

### (7) 天井部を、⑧⑨パイプジョイントに差し込み組立てます。

差し込みます

差し込みます

差し込みます

差し込みます

差し込みます

差し込みます

差し込みます

差し込みます

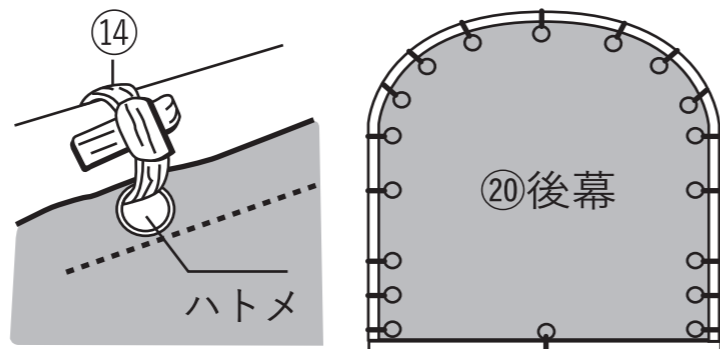
差し込みます

骨組組立完成

(8) ⑳後幕を取り付けます。

⑭Rバンドをカットし、後幕のすべてのハトメとパイプ骨組を結びつけてください。

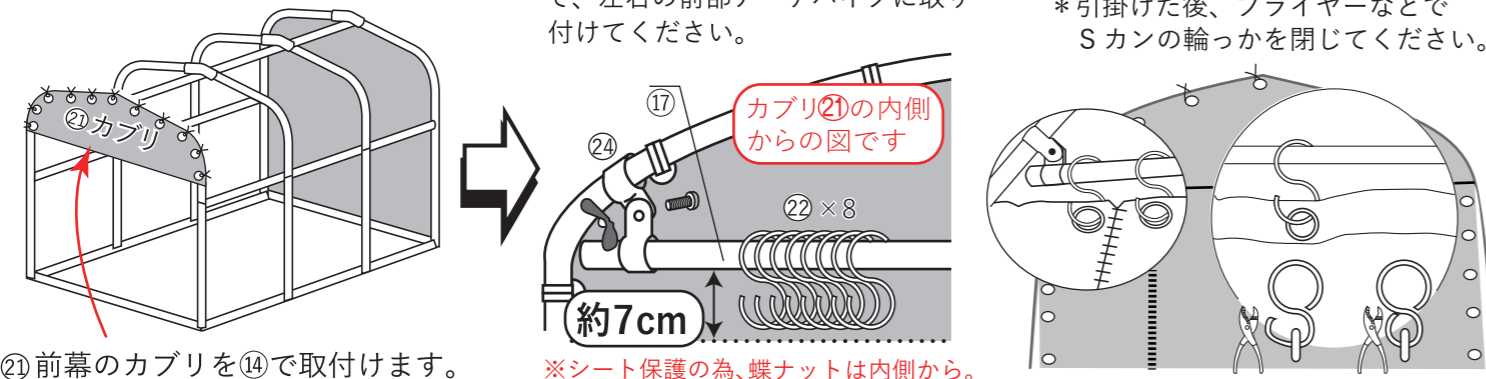
**【注】**  
カッター等を使用の際は、ケガの無い様に又、シートにキズを付けない様にお気をつけください。



(9) ㉑前幕を取り付けます。

\*⑰レール用パイプに、⑳S カンをすべて通した後、㉒ダブルユニバーサルで、左右の前部アーチパイプに取り付けてください。

\*S カんに、前幕上部のハトメを両サイドだけ残して、引掛けます。  
\*引掛けた後、プライヤーなどでS カンの輪っかを閉じてください。



㉑前幕のカブリを⑭で取付けます。

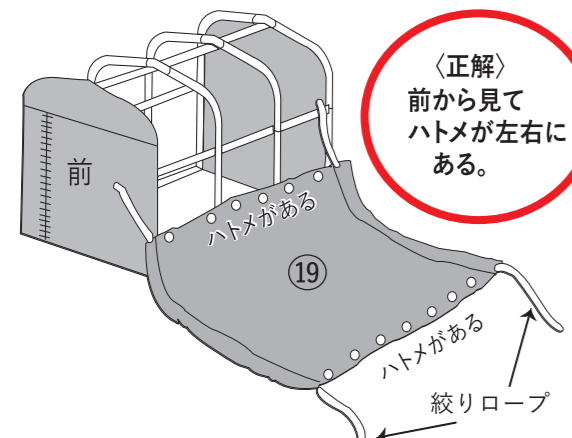
\*シート保護の為、蝶ナットは内側から。

\*前幕左右のハトメを、Rバンドで取り付けてください。

\*㉓S カン付きゴムロープを取り付けます。

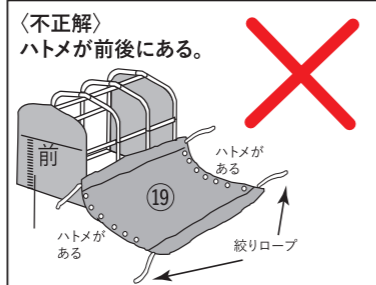
\*前幕を開け、ハトメ留めるために使います。

(10) ㉑天幕を広げ、取り付け方向を確認して、骨組に被せてください。

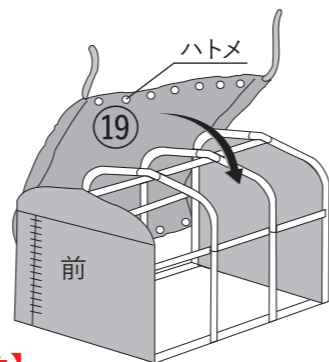


〈正解〉  
前から見てハトメが左右にある。

天幕は正しい方向に展開しないと取り付けることができません



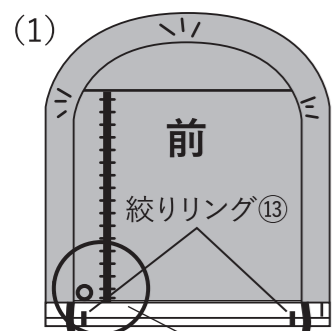
〈不正解〉  
ハトメが前後にある。



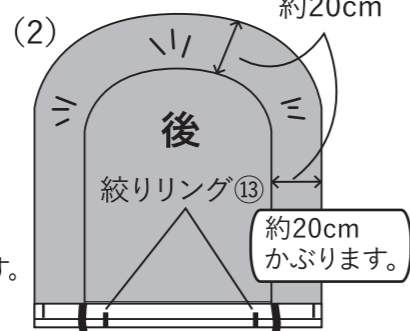
**【注】**

- シートを引きずらないでください。
- 周辺を整理して、シートにキズがつかないようにしてください。
- 風の強いときは作業しないでください。

(11) 天幕の位置を調整し、仮止めします。



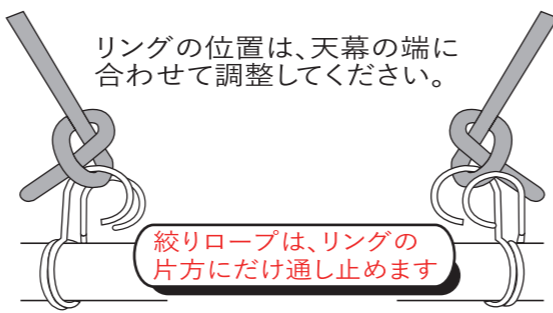
ファスナーが隠れない程度に天幕をかぶせます。



約20cm かぶりませ。

(3) 絞りロープを前後左右の絞りリングに、仮止めしていきます。

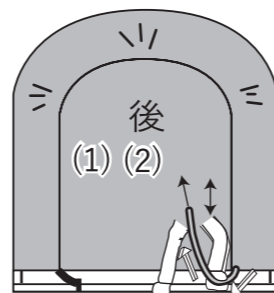
リングの位置は、天幕の端に合わせて調整してください。



絞りロープは、リングの片方にだけ通し止めます

(12) 天幕の絞りロープを絞り込み、幕にハリを持たせ、取り付けていきます。

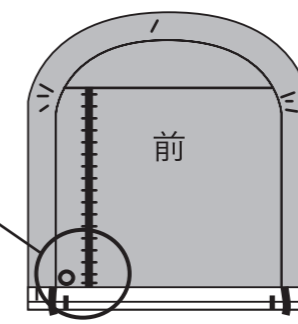
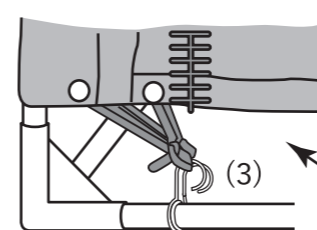
前後のかぶり・左右のすき間を確認しながら作業してください。



(1) 片方のリングから仮止めたロープを外し、絞りリングを支点にロープを引き上げます。

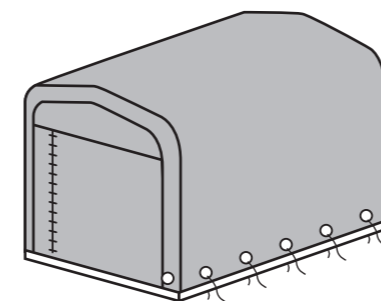
(2) ロープを引き上げたまま、支点横のロープを何回か踏み込むと、幕が絞れていきます。  
※片側を絞り、仮止め。片側を絞り、仮止め。を繰り返すと、さらにきれいに張れます

(3) ピーンとロープが張り、踏み込めなくなったら、しっかりと絞りリングに結び止めます。(絞りリングの片方にだけ通し、結び止めます。)

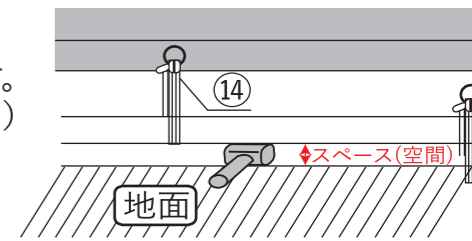


(4) 前後部を同様に繰り返して、ロープを絞り込んで幕にハリを持たせた後、取り付けてください。

※ベースパイプの下にハンマー等を敷くと、スペース(空間)を取って作業がしやすいです。



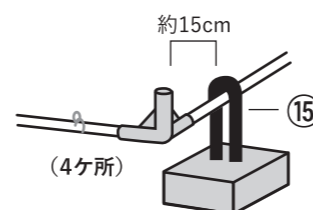
(5) 左右のハトメとパイプを結び止めます。(前後幕と同じ要領で行ってください。)



(13) 各金具で、本体の固定をします

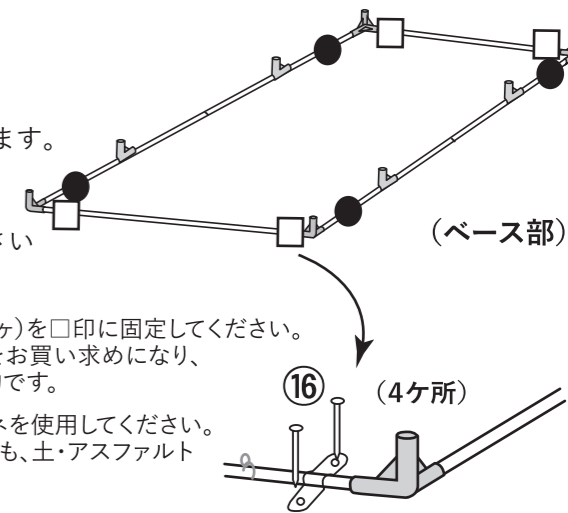
**【注】** ○⑮U字杭の打ち込み作業の際は、十分にご注意ください。

- 設置場所が、土の場合は、U字杭(4本)を●印の位置に打ち込みます。アスファルト等の場合は、穴を掘り、下図の様に各U字杭をコンクリートで固定してください。
- 完全に固定するまでは、必要によって、ロープ等で補強してください

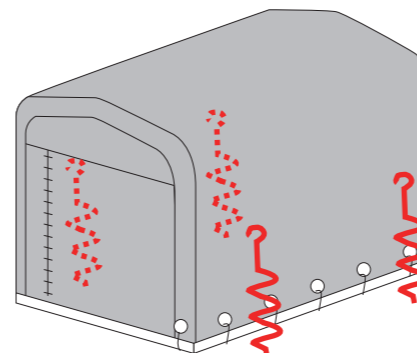


**【注】** 設置場所が、コンクリートの場合は、⑯(4ヶ)を□印に固定してください。その際、コンクリートと金属の専用接着剤をお買い求めになり、本体とコンクリートを接着するとより効果的です。

※コンクリートクギ打ち込みの際は、保護メガネを使用してください。  
※但し、思わぬ突風による災害を回避する為にも、土・アスファルト同様、クイを打ち込み固定してください。



\*畑や庭先、土壌上で、⑱ラセン杭を使い固定します。\*

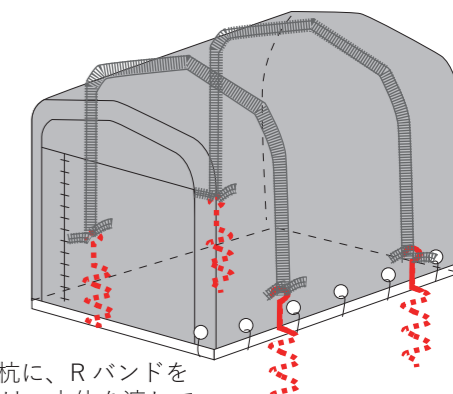


⑱ラセン杭を本体左右4ヶ所に埋め込みます。

ラセン杭に硬い棒などを通して、ねじ込んでください

硬い棒など

地面が固いときは、スコップであらかじめ軽く掘ってから、ねじ込んでください



ラセン杭に、Rバンドを結びつけ、本体を渡して反対側のラセン杭に引掛けて、引上げ、Rバンドが絞り込まれた後、結びつけます。